

数 学

朝田康文

2 次試験に向けて 5 つのポイント

センター試験が終わり出願する大学も決まったころでしょう。センターリサーチの結果を見て出願する大学、学部を決めかねてまだ悩んでいる受験生は、早く決めて実質的な学習を早く始めることを勧めます。

センターリサーチの結果は受験生全体が、そのとおりに出願するわけではありません。あくまで目安ですから悩んでも仕方ありません。無謀でない範囲で、自分の勉強したい学部（大学でなく）を優先すればよいでしょう。

さて、2 次試験までの期間の数学の学習方法と、2 次試験を受けるときの注意点や心構えなどをお話します。

1 過去問をチャレンジ

過去問をやるといってもただ漫然と解いていくのはもったいない使い方です。どの大学も試験時間、問題数、傾向（出題分野や難易度）は毎年あまり変わりません。大学の入試問題作成委員が大きく変わり傾向が変わることもあるので、先入観を持ってはいけないのですが、過去問を演習することで大体の雰囲気をつかめます。

そこで、最も効果的な過去問の使い方として、本番と同じ時間でワンセット答案を作るように解くのです。1 番から順に解いていく必要はありません。むしろ、全体をながめて解けそうな問題から順に解

いていくのです。すなわち、受験する大学の模擬試験を自分でするのです。

いろいろな雑誌に受験する大学の入試問題の傾向が載せられていたりしますが、よくわからないのではないかと思います。自分で体感することが大切で、時間配分などもだんだんわかってくるという効果もあります。

ただし、過去問を練習するに当たって 1 つ注意することがあります。それは、間違えたもしくは、解けなかった問題が出てきたときに解答を読んで理解しますが、解答を読んでも理解できなかったとします。そのとき、受験生の心理としては、その問題が理解できないと「合格できないのでは」と思ってしまうがちです。しかし心配はありません。

2 次試験の問題は、ほとんどの場合満点が取れないようなセットであり、合否に関係のない問題が混在しています。時間があるならともかく、同じ問題が出題されるわけでもない（大学は最低自分の大学が出題した問題を 5 年分調べると聞いています）のでその問題にかかわらないほうが得策です。

2 苦手分野を少しでも 解消しておく

受験生なら誰でも経験があるのが、模擬試験などで苦手な分野の問題が出題されたとき、日頃なら解ける問題でも解けないということがあります。入試の本番ではそれが致命的になることが多いのです。

難しい問題なら、差がつかないので良いのです

国公立 2次試験 直前対策

が、基本的、標準的な問題、もしくは他分野との融合問題などの場合が困るのです。そんな意味で、苦手とする分野の基本でよいから演習量を多くとっておくことをお勧めします。

3 答案を作る練習をする

ほとんどすべての大学の2次試験は記述式です。答えが一致していても答えにいたる過程が正しくなければ評価してもらえません。センター試験までは、とにかく「早く答えを見つける」という練習をしてきました。今度は、答えにいたる過程を採点者に論理的に伝えるという練習に切り替えなくてはならないのです。

しかしそんなに大げさに考えなくてもよいです。式の羅列に終わらせるのではなく、自分の言葉でよいから、自分の考えが採点者に伝わるようにポイントを書くのです。

採点者は論理に飛躍がないか、ポイントとなる部分の根拠が書かれているかなどを中心に採点していて、「作業」である計算部分が詳しく書かれているかどうかを見ているわけではありません。採点者は、減点してやろうとか、枝葉の部分重視しているのではなく、少しでも数学の力（論理的に考える力）がある受験生を選抜したいと考えて採点しています。

そのことを理解して記述式の答案を作る練習をしっかりしておきましょう。「実況中継の問題の解答」や「教科書の例題の解答」などを参考にしてください。

4 素朴に考えて解ける問題、最も基礎となる事柄の理解を見る問題が最近の傾向

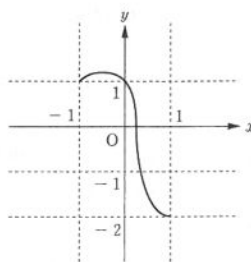
一昔前の入試問題は、「いわゆるテクニックがないと解けない」とか、「一度経験していれば解ける」といった問題が多かったのです。したがって、パターン学習をすれば数学は何とかなったのですが、最近は違います。

試験場その場で素朴に考える問題とか、真に基礎的な原理を理解していないと解けない少しパターンをはずした問題（基礎を理解している受験生はパターンをはずされていることに気がつかない）が多く出題され、受験生の「考える力」を見ようとする工夫がされています。

さあ、次の問題を考えてみてください。受験生のできが悪かった基礎力をみる最近の入試問題です。

【例題1】

区間 $-1 \leq x \leq 1$ で定義された関数 $f(x)$ が、
 $f(-1) = f(0) = 1$, $f(1) = -2$
をみたし、またそのグラフが下図のようになっているという。



このとき、 $\int_{-1}^1 f(x) dx \geq -1$ を示せ。

国公立 2次試験 直前対策

たように取れた受験生、取れなかった受験生いずれも結果を忘れて、同じスタートラインに立って2次試験を受けるという気持ちになることが大切です。

本番では、解けそうな問題を見つけて1問ずつ積み重ねその結果「6割取れた」というのが理想です。

最後に、解けない問題に出会ったとき、過去に経験したよく似た問題を思い出そうとか、高度な公式や定理を適用できないかを考える受験生がいます。解決策はむしろ逆で、最も基本に戻って考えるとか、具体的な値で実験し問題の構造をつかむことなどが有効であることを忘れないでください。

健闘を祈ります！